

調査項目

赤城養護学校を転出されてから、地域の学校や家庭における子どもさんの学習や生活等の場面で、心配に感じたことがありますか。

1 ある

2 ない

「1 ある」と答えた方は 「 」 「 」 「 」 へ お進みください。

「2 ない」と答えた方は 「 」 「 」 へ お進みください。

どのようなことで心配されましたか。当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 健康に関すること
- 2 子どもの育て方に関すること
- 3 生活及び学習上の制限に関すること
- 4 学習の遅れや授業内容の理解に関すること
- 5 友だちとの関係に関すること
- 6 出欠席に関すること（不登校を含む）
- 7 子どもに対する学校の対応の仕方に関すること
- 8 その他（

）

心配になったとき、どのような解決の方法をとりましたか。当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 家族に相談
- 2 学校の担任に相談
- 3 担任以外の先生に相談
- 4 校長・教頭などの管理職に相談
- 5 特殊学級の担任、または、通級指導教室の担当者に相談
- 6 養護教諭（保健室）に相談
- 7 学校のスクールカウンセラーに相談
- 8 総合教育センターまたは市町村の教育研究所等に相談
- 9 医療機関（かかりつけの病院等）に相談
- 10 福祉機関（児童相談所、福祉事務所等）に相談
- 11 福祉コーディネーターに相談
- 12 赤城養護学校に相談
- 13 赤城養護学校以外の盲・聾・養護学校に相談
- 14 本などを読んで自分で解決
- 15 その他（

）

心配したことがないと答えられた理由として当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

(複数回答可)

- 1 医師の指示や保護者の要望に沿って学校が対応してくれたから
- 2 特殊学級または通級指導教室等で特別な対応をしてくれたから
- 3 子ども自身がうまく適応することができていたから
- 4 家庭でも医師の指示に従って健康状態の管理に心がけていたから
- 5 病気や学習の遅れなどに関心を持つことはなかったから
- 6 その他()

子どもに関する相談等(発達・就学・転入・学習・進路等の相談、研究会や研修会への参加等)で、赤城養護学校を利用したことがありますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- 1 利用したことがある。
- 2 利用したことはないが、具体的に「こういう支援をしてもらえる」ということがわかれば利用したい。
- 3 利用しようとは思わない。

「1」と答えた方は「 」へ お進みください。

「2」と答えた方は「 」へ お進みください。

「3」と答えた方は「 」へ お進みください。

で「1 利用したことがある」と答えられた方にお聞きします。

どのような内容で赤城養護学校を利用しましたか。当てはまるものを選び、○印をつけてください。

(複数回答可)

- 1 赤城養護学校への就学や転入についての相談
- 2 地域の小・中学校との連携の方法についての相談
- 3 転出後の地域の学校における生活についての相談
- 4 将来の進路についての相談
- 5 専門機関(医療、福祉等)の利用についての相談
- 6 福祉制度の利用についての相談
- 7 学習の遅れや理解力に関する相談
- 8 子どもの精神面に関する相談
- 9 不登校についての相談
- 10 発達の遅れや性格・行動についての相談
- 11 赤城養護学校を会場とする研究会、研修会等への参加
- 12 赤城養護学校の施設・設備の利用
- 13 その他()

で「3 利用しようとは思わない」と答えられた方にお聞きします。

「赤城養護学校の相談や支援を利用しようとは思わない」とお答えになられた理由に当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

(複数回答可)

- 1 今のところ、自分自身の力で解決が可能だから
- 2 地域の学校が適切な支援をしてくれているから
- 3 赤城養護学校で、どのような支援が受けられるかわからないから
- 4 支援について相談しづらい雰囲気があるから
- 5 利用しても明確なヒントや回答が期待できないから
- 6 必要性を感じていないから
- 7 その他()

次にあげる赤城養護学校の「本人や保護者、地域の学校への支援及び相談機能」の項目の中から、「ぜひ利用したい」または「ぜひ行ってほしい」と思うものを5つ選び、番号に○印をつけてください。

- 1 赤城養護学校への就学や転入についての相談や情報の提供
- 2 赤城養護学校を転出する際の小・中学校との連絡・調整
- 3 子どもさんに対する学習面や精神面での相談
- 4 将来の進路についての相談や情報の提供
- 5 専門機関(医療、福祉等)の利用についての相談や情報の提供
- 6 福祉制度の利用についての相談や情報の提供
- 7 小・中学校の授業等への直接的な指導(「出前授業」等)
- 8 病気の子どもの理解や指導に関し、配慮してほしいことについての小・中学校へのアドバイス
- 9 不登校の子どもの理解や対応についてのアドバイス
- 10 LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等、軽度発達障害の子どもの理解や指導についてのアドバイス
- 11 赤城養護学校を会場とした、子どもの理解や指導に関する研究会、研修会等の開催
- 12 小・中学校における先生方の研修会に赤城養護学校の職員を講師として派遣
- 13 赤城養護学校の施設・設備の開放
- 14 赤城養護学校で活用している教材・教具の貸し出しや紹介
- 15 赤城養護学校を転出した後の継続的な相談及び支援
- 16 その他()

資料 1- 2

アンケート調査（小・中学校）

調査項目

対象となる子どもと先生のご関係について、当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

- 1 昨年に引き続き、現在も担任している
- 2 現在は担任していないが、昨年度担任した
- 3 現在は担任していないが、以前に担任したことがある
- 4 担任した経験はないが、教科等の指導でかわったことがある
- 5 その他（ ）

病弱養護学校（赤城養護学校）から転入した後、「病気の子ども」を指導するうえで困った（悩んだ）ことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

「1 ある」と答えた方は 「 」 「 」 「 」 へ お進みください。
「2 ない」と答えた方は 「 」 「 」 へ お進みください。

どのようなことで困り（悩み）ましたか。当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 健康面への配慮に関すること
- 2 生活及び学習指導上の制限に関すること
- 3 学習進度の遅れや理解力に関すること
- 4 対人関係上の問題に関すること
- 5 出欠席に関すること（不登校を含む）
- 6 保護者との関係に関すること
- 7 医療機関との関係に関すること
- 8 その他（ ）

困った場合、解決するためにどのような方法を取りましたか。当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 自校の校長・教頭等管理職に相談
- 2 自校の他の通常学級の担任（前担任を含む）に相談
- 3 自校の特殊学級の担任、または通級指導教室の担当者に相談
- 4 自校の養護教諭に相談
- 5 自校のスクールカウンセラーに相談
- 6 総合教育センターまたは市町村の教育研究所等に相談

- 7 医療機関に相談
- 8 福祉機関（児童相談所、福祉事務所等）に相談
- 9 教育事務所の特別支援教育相談コーディネーター（現特別支援教育専門相談員）
- 10 他校の教員（管理職、養護教諭を含む）に相談
- 11 病弱養護学校に相談
- 12 病弱養護学校以外の盲・聾・養護学校に相談
- 13 本などを読んで自分で解決
- 14 その他（ ）

「困った（悩んだ）ことがない」と答えられた理由として当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 医師の指示または保護者の希望に沿って対応したから
- 2 特殊学級または通級指導教室等で特別な対応をしたから
- 3 通常の学級の中でも個に応じた配慮をして対応したから
- 4 子ども自身がうまく適応することができていたから
- 5 病気や学習の遅れなどに関心をもつことはなかったから
- 6 その他（ ）

病弱養護学校（赤城養護学校）の支援及び相談機能（発達・就学・転入・学習・進路等の相談、研究会や研修会の開催等）の利用について、当てはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- 1 利用したことがある。
- 2 利用したことはないが、具体的に「こういう支援をしてもらえる」ということがわかれば利用したい。
- 3 利用しようとは思わない。

「1」と答えた方は 「 」 「 」 へ お進みください。

「2」と答えた方は 「 」 へ お進みください。

「3」と答えた方は 「 」 「 」 へ お進みください。

で「1 利用したことがある。」と答えられた先生にお聞きます。
どのような支援及び相談機能を利用されましたか。当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 病弱養護学校（赤城養護学校）への就学や転入についての相談
- 2 学習の進捗状況等に関する情報の交換
- 3 進路についての相談

- 4 専門機関（医療、福祉等）の利用についての相談
- 5 福祉制度の利用についての相談
- 6 病気の子どもの理解や指導上の配慮事項等についての相談
- 7 不登校の子どもの理解や対応についての相談
- 8 病弱養護学校（赤城養護学校）を会場とする研究会または研修会への参加
- 9 病弱養護学校（赤城養護学校）を転出する際の情報交換会（ケース会議）
- 10 教材・教具の貸し出し等の相談
- 11 その他（ ）

の「3 利用しようとは思わない。」と答えられた先生にお聞きします。

「利用しようとは思わない」とお答えになられた理由として当てはまるものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 自分自身の力で解決が可能と思うから
- 2 自校の支援体制が確立されているから
- 3 どのような支援が受けられるかわからないから
- 4 支援について相談しづらい雰囲気があるから
- 5 利用しても明確なヒントや回答が期待できないから
- 6 必要性を感じていないから
- 7 その他（ ）

次にあげる病弱養護学校（赤城養護学校）の「小・中学校への支援及び相談機能」の項目の中から、「ぜひ利用したい」または「ぜひ行ってほしい」と思うものを選び、番号に○印をつけてください。

（複数回答可）

- 1 病弱養護学校（赤城養護学校）への就学や転入についての相談や情報の提供
- 2 保護者や医療機関等との連携に関するコーディネート
- 3 専門機関（医療、福祉等）の利用についての相談や情報の提供
- 4 福祉制度の利用についての相談や情報の提供
- 5 将来の進路についての相談や情報の提供
- 6 学習場面における直接的な指導支援（「出前授業」等）
- 7 心理的なケアの方法についてのアドバイス
- 8 病気の子どもの理解や指導上の配慮事項等についてのアドバイス
- 9 不登校の子どもの理解や対応についての指導上のアドバイス
- 10 LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等、軽度発達障害の子どもの理解や指導についてのアドバイス
- 11 赤城養護学校による特別支援教育に関する研究会、研修会等の開催
- 12 小・中学校の校内研修会への講師紹介や赤城養護学校職員の派遣
- 13 対象となる児童生徒に関する事例検討会の開催
- 14 赤城養護学校の施設・設備の開放
- 15 赤城養護学校で活用している教材・教具の貸し出しや紹介
- 16 その他（ ）

調査項目

あなた自身がこれまでに行ってきた本人・保護者及び小・中学校等への支援（教場単位のものも含む）について、当てはまるものを、「１」と「２」の中から選び、○印をつけてください。

(複数回答可)

1 本人・保護者への支援

- (1) 赤城養護学校への就学や転出入に関する相談や情報の提供
- (2) 入院中の子どもの学習面（教科）に関する相談
- (3) 入院中の子どもの心理面に関する相談
- (4) 赤城養護学校を転出後の学習面、生活面等に関する相談
- (5) 自立活動の個別の指導計画に関する意見交換
- (6) 将来の進路についての相談や情報の提供
- (7) 専門機関（医療・福祉等）の利用についての相談や情報の提供
- (8) 福祉制度の利用についての相談や情報の提供
- (10) 赤城養護学校を転出する際のケース会議等の開催
- (11) 赤城養護学校の施設・設備の開放
- (12) その他（ ）

2 小・中学校への支援

- (1) 赤城養護学校への就学や転入についての相談や情報の提供
- (2) 保護者との連携のあり方についての相談
- (3) 将来の進路についての相談や情報の提供
- (4) 専門機関（医療、福祉等）の利用についての相談や情報の提供
- (5) 福祉制度の利用についての相談や情報の提供
- (6) 学習場面における直接的な指導（「出前授業」等）
- (7) 病気の子どもの理解や指導上の配慮事項等についてのアドバイス
- (8) 不登校の子どもの理解や対応についての指導上のアドバイス
- (9) LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等、軽度発達障害の子どもの理解や指導についてのアドバイス
- (10) 小・中学校の校内研修会への講師紹介や赤城養護学校職員の派遣
- (11) 赤城養護学校を転出する際のケース会議等の開催
- (12) 赤城養護学校の施設・設備の利用
- (13) 赤城養護学校で活用している教材・教具の貸し出しや紹介
- (14) その他（ ）

赤城養護学校が果たすべきセンター的機能として何が必要と考えますか。必要性が高いと思うもの上位5つを選び、番号に○印をつけてください。

1 赤城養護学校への就学や転入についての相談や情報の提供

- 2 将来の進路についての相談や情報の提供
- 3 専門機関（医療、福祉等）の利用についての相談や情報の提供
- 4 福祉制度の利用についての相談や情報の提供
- 5 学習場面における直接的な指導（「出前授業」等）
- 6 病気の子どもの理解や指導上の配慮事項等についてのアドバイス
- 7 不登校の子どもの理解や対応についての指導上のアドバイス
- 8 LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症等、軽度発達障害の子どもの理解や指導についてのアドバイス
- 9 乳幼児に対する早期教育相談（入院中の幼児を含む）
- 10 特別支援教育に関する研究会、研修会等の開催
- 11 対象となる子どもの先生方を含めた、個別のケースに対する事例検討会の開催
- 12 赤城養護学校の施設・設備の開放
- 13 赤城養護学校で活用している教材・教具の貸し出しや紹介
- 14 個別の教育支援計画の作成に関するアドバイス
- 15 小・中学校の校内研修会への講師紹介や赤城養護学校職員の派遣
- 16 その他（ ）

の1～16の各機能を、「A：現状のまま継続する」「B：現状を改善して継続する」「C：検討後、新規に実施すべき」「D：現時点では実施困難である」「E：わからない」に分類するとどれに当てはまりますか。下の表に番号を記入してください。

分 類	番 号
A：現状のまま継続する	
B：現状を改善して継続する	
C：検討後、新規に実施すべき	
D：現時点では実施困難である	
E：わからない	

センター的機能を果たしていくうえで何が課題だと感じますか。重要だと思うものを3つ選び、番号に○印をつけてください。

- 1 「センター的機能のあり方」についての職員の共通理解
- 2 特別支援教育（病弱教育を含む）に関する理解・啓発の促進
- 3 関係諸機関（保護者、小・中学校、医療機関等）との連携のあり方
- 4 校内における支援体制づくり（支援の計画、組織、内容、方法、役割分担等）
- 5 教員の専門性の向上
- 6 特別支援教育コーディネーターの養成

- 7 分掌担当者の持ち時数の軽減（授業免除も含む）
- 8 保護者、小・中学校、医療機関等、病気の子どもの教育に関するニーズの把握
- 9 その他（ ）

盲・聾・養護学校が、地域における特別支援教育のセンター的機能を果たしていくことに関する学校内の取り組みや考え方について、お感じになっていることがありましたらお書きください。

資料2-1

実態調査（保護者）

図1 病気の子どもの養育上の悩みの有無

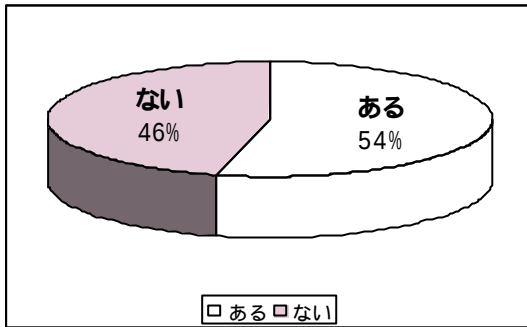


図2 悩んだ理由

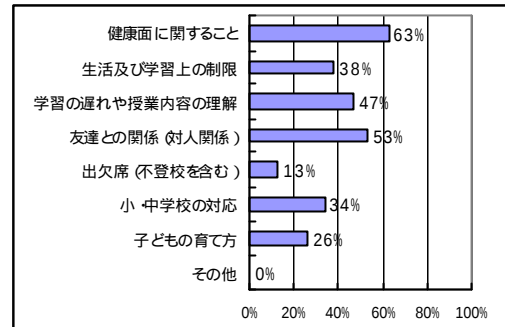


図3 悩みの解決方法（相談した人、場所）

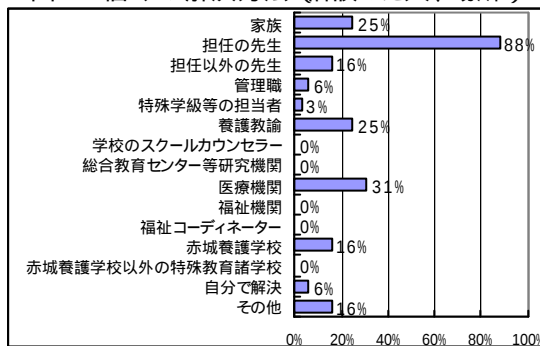


図4 悩まなかった理由

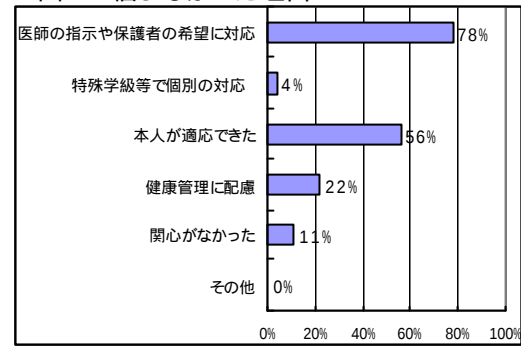


図5 赤城養護学校の支援機能の利用

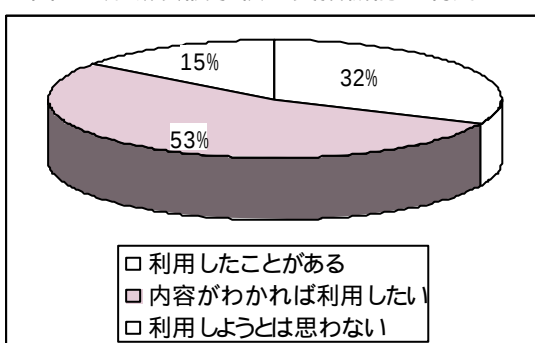


図6 利用した赤城養護学校の支援機能

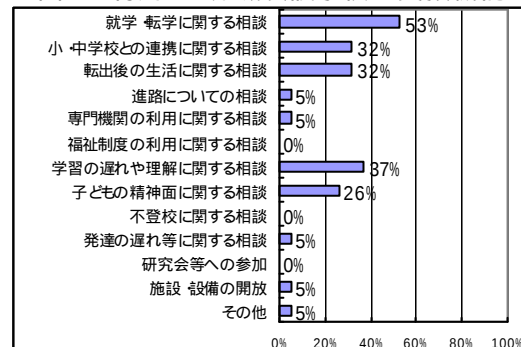


図7 赤城養護学校の支援機能を利用しようと思わない理由

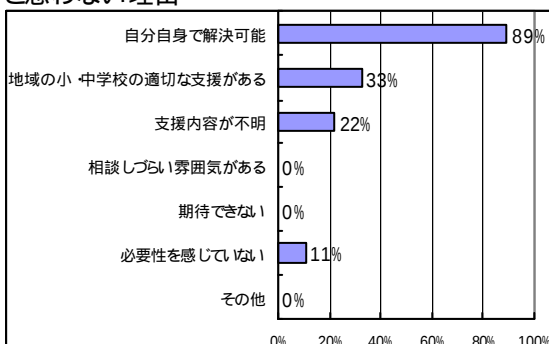


図8 赤城養護学校に期待する支援機能

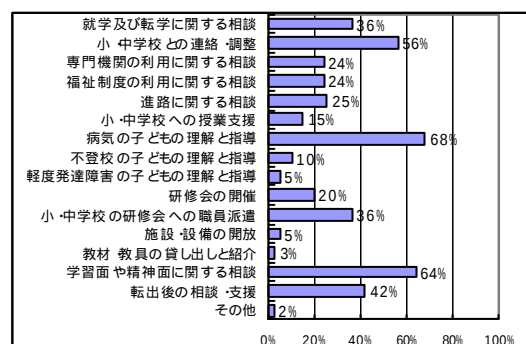


図1 病気の子どもの指導上の悩みの有無

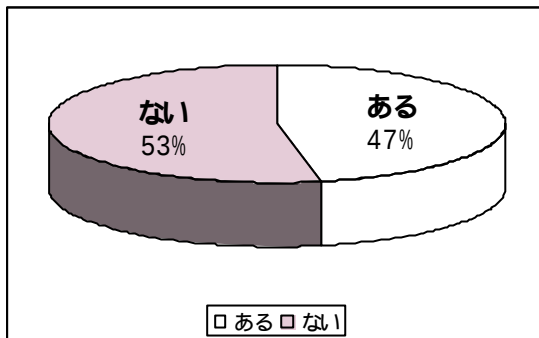


図2 悩んだ理由

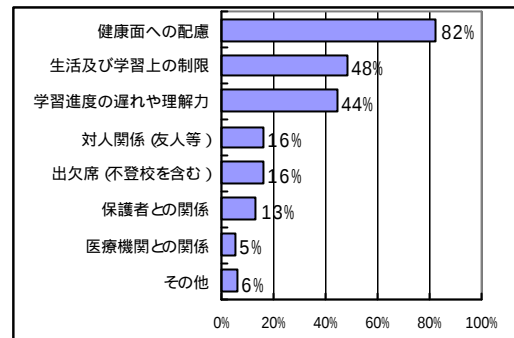


図3 悩みの解決方法（相談した人、場所）

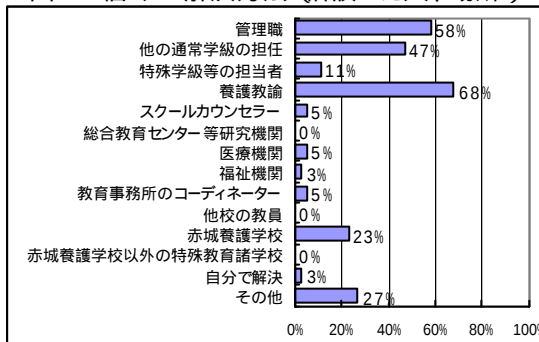


図4 悩まなかった理由

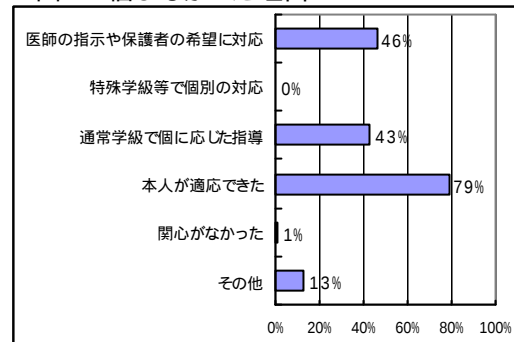


図5 赤城養護学校の支援機能の利用

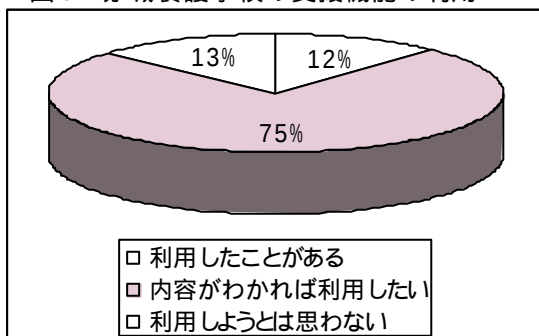


図6 利用した赤城養護学校の支援機能

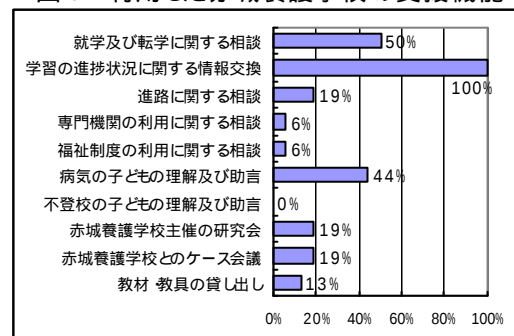


図7 赤城養護学校の支援機能を利用しようと思わない理由

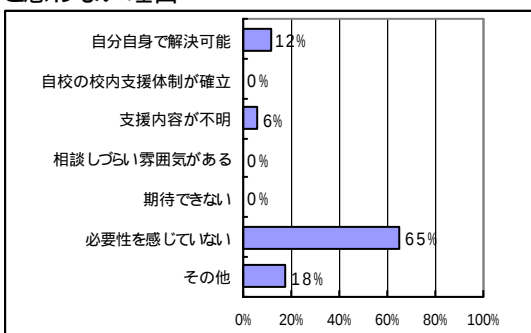


図8 赤城養護学校に期待する支援機能

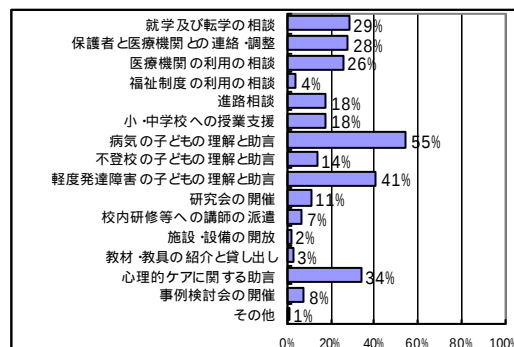


図 1 本人及び保護者に実施してきた支援

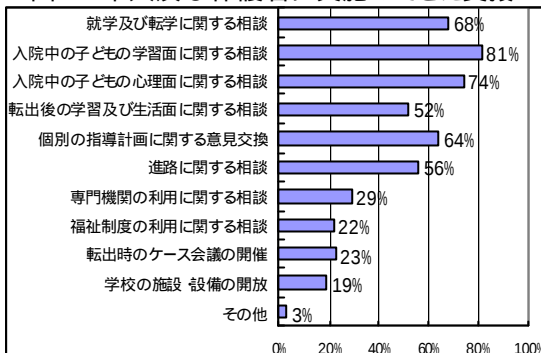


図 2 小・中学校の教員に実施してきた支援

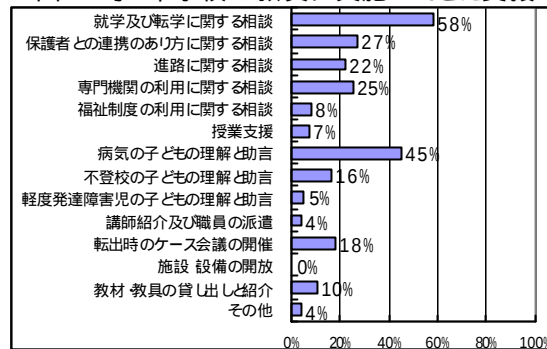


図 3 赤城養護学校が果たすべき支援機能

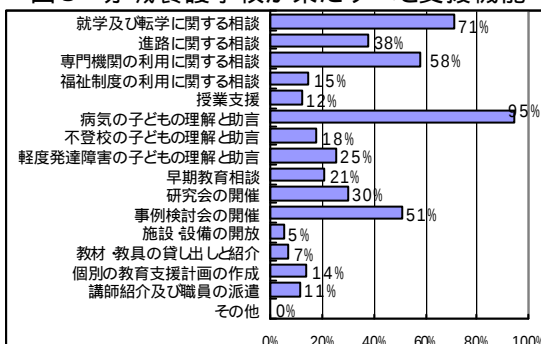


図 4 センター的機能を果たす上での課題

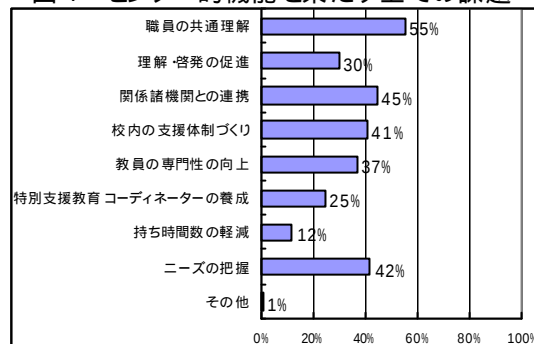


図 5 赤城養護学校が果たすべき支援機能の実施に関する現状認識

